



第34回全国豊かな海づくり大会～やまと～を開催

「第34回全国豊かな海づくり大会～やまと～」が、天皇皇后両陛下ご臨席のもと「ゆたかなる森がはぐくむ 川と海」を大会テーマとして奈良県で開催された。

■「全国豊かな海づくり大会」とは

魚食国である日本人の食卓に、安全で美味しい水産食料を届けるために、水産資源の保護・管理と海や湖沼・河川の環境保全の大切さを広く国民に訴えけるとともに、つくり育てる漁業の推進を通じて、明日のわが国漁業の振興と発展をはかることを目的として、昭和56年に第1回が大分県で開催されて以来、都道府県ごとに毎年各地で開催されている。

■大会の概要

- ◆主催：豊かな海づくり大会推進委員会
第34回全国豊かな海づくり大会
奈良県実行委員会
- ◆後援：農林水産庁、環境省
- ◆開催日：平成26年11月15日(土)・16日(日)
- ◆開催場所：吉野郡大淀町、吉野郡川上村
五條市、橿原市

■式典行事

式典は16日に吉野郡大淀町文化会館あらかしホールで開催され、天皇皇后両陛下をはじめ、伊吹衆議院議長など県内外から招待者525人が出席。

式典では、豊かな海づくりのために功績のあった団体や作品コンクール受賞者の表彰のほか、両陛下による放流魚のお手渡しがあり、大会決議が採択された。



式典行事

■放流・歓迎行事

式典終了後、会場を同郡川上村のおおたき龍神湖に移し、放流・歓迎行事が開催された。

海づくり大会史上初となるカヌーによる水上歓迎の後、両陛下は湖畔に設置された吉野杉製の台から、奈良県のさかな「アマゴ」と「アユ」を放流され、県内外の招待者331人も続いた。



放流・歓迎行事

■放流行事・関連行事

五條市の吉野川大川橋下流河川敷では、天皇陛下からお手渡しを受けた魚を放流。また、県民参加行事として、五條市の同河川敷と橿原市のJAならけんまほろばキッチンでは「やまと海づくりフェスタ」が行われ、延べ20,000人を超える来場者があり大盛況となった。

■豊かな自然の恵みを未来に引き継ぐために

式典行事で、荒井正吾奈良県知事は、「山の栄養素が川を通して海に注ぎ、豊かな海の幸を生み出すことから、海の幸は山の恵み、川の恵みのたまものと言える。山、川、海を水が循環している中で、山や森が大きな役割を担っていることを認識し、感謝したい」と述べた。また、大会決議として「海づくり大会の意義をここ奈良県において改めて確認し、『ゆたかなる 森がはぐくむ 川と海』を合言葉に、さらなる環境・生態系の保全に努めながら、森、川、海を守り育ててゆくこと」が満場の拍手をもって賛同された。

豊かな海づくりは、水産資源回復に繋がると認識し、環境意識の向上に努めたい。（奥 桂子）